

種の保存と動物園



トキの保護増殖の研究



1953.4.19 ~
1954.2.25



1969.9.22 孵化

トキ人工飼料の開発・健康診断



コウノトリの飼育下繁殖



- 1959 兵庫県豊岡で1羽孵化
- 1964 福井県小浜で野生最後のひな孵化
- 1965 豊岡で1ペアを捕獲し、人工増殖が開始される
- 1971 豊岡で最後の1羽を捕獲
- 1988 多摩動物公園で孵化
- 1989 豊岡コウノトリ飼育場で孵化

タンチョウの人工孵化



タンチョウの自然孵化





点灯飼育



シジュウカラガンの野生復帰

もともと千葉県鳥獣の鳥で繁殖していたシジュウカラガンの野生復帰。鳥獣、水産部が共同で実施するために設立したシジュウカラガンの野生復帰委員会が、多くの鳥を繁殖させていました。

柏市の鳥山動物公園と日本産を保護する会は、シジュウカラガンを復活させる活動を行っています。

千葉県動物公園で繁殖させたシジュウカラガンを、キツネがいない千葉県鳥獣の鳥山動物公園のヘリコプターで運び、放します。

放したシジュウカラガンの野生復帰の状況は、定期的に報告されています。鳥の数は少しずつ増加してきています。

神奈川県の外来動物

ほかにもいる

アライグマ タイワンリス カミツキガメ

これらの動物は、外来動物で特定の外来動物に指定されており、ペットとして飼育することはできません。

ペットは責任を持って飼育してください。

野外で 足環のついたカナダガンをみかけたら...

野生に放したカナダガンの足環を捕まると、再放鳥の足環のカナダガンのリリースプログラムが実施されています。

連絡先と問い合わせ

鳥獣 水産部 環境部

電話 0476-21-3111

ファクス 0476-21-3112

http://www.berkeley.ac.jp/



22 Team 豊田

豊田県立自然史博物館

豊田県立自然史博物館 豊田自然史資料館

豊田県立自然史博物館 豊田自然史資料館

豊田県立自然史博物館 豊田自然史資料館

ナゴヤダルマガエル

Rhophyla percaea brevirostris

- 東海・近畿地方～中国地方や琵琶湖部～瀬戸内海に分布し、個人での観察にも見られる水辺のたこ蛙
- ノサマガエルに比べて、背中に緑がかった、黒斑が少なくしつこいこと、両目が大きくて丸いこと、などが特徴

ナゴヤダルマガエル と ノサマガエル

～似た点もあって、片っ端から～

種別	ナゴヤダルマガエル	ノサマガエル
体色	緑がかった茶色	茶色
背中の斑	黒斑が少なくしつこい	黒斑が多い
目の大きさ	大きく丸い	小さく丸い
分布地	東海・近畿地方～中国地方	中国地方～九州

ダルマガエルの分布～広島の西側～

2014年調査

広島県の分布

調査結果

調査年度	調査地点	調査結果
2014	広島県 豊田	観察あり
2015	広島県 豊田	観察あり
2016	広島県 豊田	観察あり

減少の原因～モーター車、除草機～

近年、このたこ蛙の生息地は、モーター車、除草機などの使用によって、乾燥した環境へと変化しています。

- 減少・消失の原因は、生息地への開発、農地化
- 環境の変化 (乾燥、農地化、水田や池のコンクリート化など)
- 耕作方法の変化 (水田耕作の機械化、中干しなど)
- 農薬の使用 (除草剤、殺虫剤の使用)

ダルマガエルの年間減少の理由と対策

理由	対策
生息地の乾燥	水田や池のコンクリート化を避け、水田や池を維持する
農地化	農地化を避け、生息地を維持する
除草機の使用	除草機の使用を避け、生息地を維持する

安佐動物公園の取り組み～生息地保全～

安佐動物公園では、ダルマガエルの生息地保全に取り組んでいます。

取り組みの内容

- 生息地の調査とモニタリング
- 生息地の整備と管理
- 生息地の保全と回復



絶滅が心配されるライチョウの「万が一」に備えて、東京の上野動物園が飼育と人工繁殖に取り組み、まずは技術が確立しているノルウェーで研修するため、6月27日、職員2人を派遣した。「先を見越して準備することも動物園の重要な役割」と小高輝之園長は話す。

日本のライチョウは世界の最南端に生息する貴重な鳥。環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅰ類に分類されている。信州大の中村浩志教授は「ツノ羽を切った」と心配する。標高2400m以上で高山植物を食べるた

上野動物園が職員派遣



ノルウェー・トロムソ大のライチョウ＝2006年6月、橋本弦撮影

め、低地での飼育は餌や温度管理が難しい。温暖化が進めば、生息地を奪われる恐れもある。

研修するのは堀秀正さん(右)と高橋幸裕さん(左)。ライチョウの飼育・繁殖実績があるトロムソ大で約2カ月過ごす。「繁殖サイクルに影響する日照と空調の管理を見たい。気候や空気の清浄性が異なる東京で繁殖にこぎ着けるため、職人技のようなコツをつかみたい」と堀さん。来年にはノルウェーから卵を持ち込み飼育を始め、めどが立ったら日本のライチョウの飼育に挑戦する。

トホは日本産が絶滅、中国産の人工繁殖に成功した。「トホを教訓に、生息地の保全と共に、飼育技術の確立を急ぐ必要がある」と中村教授は話している。(福岡市報)

動物園の役割



レクリエーション
教育
研究
自然保護

種の保存
環境教育

域外保全
域内保全

環境
自然 文化 社会